

6. 成人と公民館

福生の公民館の成人対象の講座は、市民に趣味や実技、教養に関する学習機会を提供する場として、市民文化教室、ワープロ、ステンドグラス、文学、法律、福祉、16ミリ映写機講習等の各ジャンルで開催。市民の学習文化活動への参加を促し、市民文化活動を拡大してきた。

63年度は、こだわり講座、時事講座が始まった。幅広い層の市民を公民館に引きつける試みであった。また、公民館備品の講習会として、16ミリに加えて、オフセット印刷機の講習が始まった。

元年度はシナリオ、木工作、環境問題講座が始まった。環境問題講座は環境への関心が高まってきた時期だけに、予想以上に参加者が集まった。

また、2年度の市制20周年記念事業にそなえて第九コンサートの準備会が始まった。

2年度は市制20周年記念の年であった。第九の講習会、演奏会が開催された。また、社会教育、ハーブ、仏像鑑賞が始まった年でもある。

3年度は前年の第九実施を受けての第九音楽講座。そして、カウンセリング講座、牛乳パック年賀状づくり、フラワーデザイン、音響、照明機材講習会が始まった。

4年度は教育講座、男性向けの事業、老後に向けた講座、生涯学習、障害者的人権講座が始まった。生活や地域の課題に目が向けられた。

5年度はTAMAらいふ事業があった年である。TAMAらいふ事業は、市民会館事業として、『市民オペラ劇場』『ミュージル玉の都』、公民館事業として『大茶会』を開催した。だが、併設館であるため、このような市民参加型事業は、市民会館の事業だから公民館は関係ないというものではなく、実際は公民館利用者がTAMAらいふ事業の中心であった。また、公民館を利用する音楽サークルにとって、そのネットワークづくりや活動に大きな意義を持つものであった。

6年度は文学講座、文化講座（オペラ）、パソコンビデオ編集が始まった。また、今まで市民主催の事業であった市民音楽祭が公民館との共催事業となった。

ずっと10年の流れを追ってみたが、開館以来の20年という視点でみてみたい。

成人事業は継続されてきたジャンルが少なく、新しいものが実施される傾向がある。理由として、公民館分館、図書館、郷土資料室などの施設ができることにより、以前公民館（本館）で実施していた事業が新たな施設で実施されるようになったこと、また、主催事業から自主サークルができ、市民により継続されていることがあげられる。公民館として、成人対象の事業の可能性を求めてきた20年は、今まで公民館に関わっていない新しい層が公民館にくるきっかけづくりの場面であった。

しかし、一方では、市民の学びを主催事業として継続的に保障し、その中身を市民とともに深めしていく事業も必要である。そういう意味では、福祉、環境、教育、生涯学習など、過去継続実施され、現在行われていない事業の再考と介護保険などの新しい課題に対応する事業の実施が求められている。

なお、継続している事業については以下のとおりである。

第九演奏会

第九演奏会は平成2年度の市制20周年記念事業として始まった。きっかけは公民館のつどいの音楽の分科会での市民の声であった。

平成元年9月から準備会を5回開催、2月に市民に呼び掛け、市民参加の実行委員会が発足した。

その後、平成3年の合唱団の自主開催をはさみ、平成4年度、6年度、8年度と隔年で開催している。

公民館では講座を、市民会館では当日の演奏会をという分担であったが、会館全体で事業実施を行ってきた主要事業であった。

前回は外国人の方にも参加を呼び掛けようと英文のチラシを作成したり、第九の地域への定着をねらってきた。

平成10年度で5回を迎える、計画ではこれで終了する。ここで培われた市民の力やネットワークはいろいろな場面で生かされてきたが、今後どのような形で第九に結集した力を生かしていくかが大きな課題である。

〈参考〉

2年度

『市制20周年記念事業 第九演奏会』

3年3/23 午後2時開演

指揮 外山 雄三 ソリスト 斎田 正子

伊原 直子、小林 一男、木村 俊光

実行委員長 来住野和也 団長 小林 光

3年度 〈福生「第九」市民合唱団主催〉

『福生春の第九とカルメン』

4年4/12 午後1時30分開演

4年度

『ふっさ春の第九演奏会』

5年3/19 午後7時開演

新日本フィルハーモニー交響楽団

指揮 手塚 幸紀 ソリスト 前沢 悅子

大橋 ゆり、藤原 章雄、松本 進

実行委員長 杉山 行男 団長 杉山 行男

6年度

『ふっさ春の第九』

7年3/26 午後3時30分開演

新星日本交響楽団

指揮 沼尻 竜典 ソリスト 持木 文子

小畠 朱実、藤原 章雄、青戸 知

実行委員長 村尾佐保子 団長 村尾佐保子

8年度

『ふっさ春の第九』

9年3/30 午後3時30分開演

日本フィルハーモニー交響楽団

指揮 山下 一史 ソリスト 沢畠 恵美

青山智英子、藤原 章雄、福島 明也

実行委員長 村尾佐保子 団長 有井 節子

市民音楽祭

福生市民音楽祭は福生市音楽愛好者連絡会の主催により11年間市民主体で実施してきた。平成5年度は市民音楽祭をTAMAらいふ事業『ふっさ童謡フェスティバル』として実施した。そのため、市民音楽祭として実施されなかったが、今までのようにサークルが順番に出演するという形ではなく、企画をつくり、プロとサークルが共演するという形であったため、サークル相互の連携が深まった。翌年以後はその経過をふまえ、公民館に援助の要請があり、共催という形態で事業を実施している。童謡フェスティバル以降、変わったのは、参加者の企画が、サークルが順番に出演するものから、音楽祭全体の企画をどうしたらいいのかというものになってきたことである。公民館の利用団体の発表会から利用団体が自ら企画し自ら出演するものに変わってきた。

また、平成8年度に実施した第14回市民音楽祭は市民による芸術文化活動の成果として製作された、福生の昔話を題材にした「虹の村」を市民の手により上演した。第九や市民オペラで培った市民の力がひとつに結集した姿であった。

それ以降も継続的に市民が企画する音楽祭が続いている。

市民文化教室

文化教室は市民の文化活動の要求に応え、①個々の創造的感性を養うとともに、②地域での人と人とのつながりを得る契機となるよう実施し、③豊かで活力ある日常生活の実現と地域文化の向

上に向けることを目標に、福生市文化協会と公民館の共催で実施してきた。文化協会はその市民団体のもてる力を市民に提供し、公民館は場の設定・提供をしてきた。また、この10年で、多彩なジャンルで事業数の拡大をはかり、平成7年度から14本へと増えている。その大きな原因としては、市民意識の国際化が改めて日本の伝統文化や芸能を自らのものにしたいという市民の学習要求があるのではないだろうか。また、実施場所も公民館だけでなく、地域会館を活用し、日常公民館に足を運ばない層にも参加の機会を開いた。

この機会を通じて多数の自主グループが発足しており、公民館でそして地域で人と人とがつながり、ひろがっている。

文学講座

開館時より継続していたが、いったん中断していた文学講座が再開されたきっかけは、高齢者対象の『自分史を書く』講座の参加者からの要望であった。

戦後50年の節目の年に、市と公民館で戦争体験文集を発刊する計画があった。その年の『自分史を書く』講座では、その文集にあわせ、戦争体験をテーマにした。そのなかで、自分の気持ちをどのように整理して、戦争をみつめなおし、文章にしていったらいいのだろうか。その課題に応える意味で、同年、文学講座『現代文学にみる戦争』を開催、大岡昇平の作品を読み、自分がどのように戦争と向き合えばいいのか考え合った。

これ以降、自分史と文学講座は文章という媒体で自分自身を見つめ直す場、問い合わせの場として、共通のつながりをもった講座として位置付けされ、継続的に開催されている。

これからの市民文化教室

福生市文化協会

副会長

青柳福治



公民館20周年記念誌を発行するにあたって、私に課せられたものは「公民館と市民文化教室」についてということです。市民文化教室の内容に入る前に考えておきたいことは、いつでも市民の自発的意志に基づき必要に応じ、あるいは好みに従って指導を受けたり、研修をおこなうことが生涯学習や文化の活動でありましょう。そして教養を高め市民一人ひとりが生きがいある人生を過ごせる契機となる場が公民館であり、この公民館の歴史について少しふれたいと思います。

ご存知のことだと思いますが、福生市公民館は市民会館との複合施設として昭和52年に開館され、続いて54年に松林分館が、そして55年には白梅分館がそれぞれ開館されました。このように市民待望の公民館が設置されましたのは自治体当局との任にあられた市職員の方々の並々ならぬ努力、ご苦労のおかけと我々市民の感謝するところであり、それだけに市民各自が自治体当局の施策を自分のものにすべく公民館を最大限に活用することが望されます。

同時にここで考えさせられるのは公民館誕生のために当時地域住民が陰に陽に大きな役割を果したということです。昭和41年に青年達が心の交流と主体性の確立を目指し結集して初めて青年達のサークルが誕生し、更にサークル活動の場所の確保と互いの活動を発展させるために青年団を混えて「青年団体連絡協議会」が43年に結成され、それぞれの活動場所の確保に苦労されたことが引き金となって公民館づくり運動が始まりました。そ

してそれが今立派に実り現実となったわけです。公民館誕生のためご苦労された方々に心より感謝と敬意を表するものです。

さて前書きが少し長くなりましたが、次に私に課せられました「市民文化教室」について記すことといたします。

市民文化教室は市民の文化活動への要求に応えると共に、文化教室を通して個人個人の創造的感性を高め、人と人とのつながりを得る契機となるよう毎年実施されております。このことを通して市民が豊かで活力ある日常生活を営むことができることと、地域文化の向上をはかることを目的として福生市文化協会と公民館の共催で実施されております。

昭和46年に教育委員会と当時の文化連盟の共催で初めて市民文化教室が現在の福祉会館で開講されて以来、52年に公民館ができるまで同会館で文化教室が実施されてきました。当時は建物の関係もあって色々と苦心されたようですが、現在はすばらしい近代設備の建物で冷暖房完備とたいへん恵まれた環境の中で文化教室がおこなわれております。

平成9年度の文化教室は公民館本館、松林分館、白梅分館と各地域会館に分かれて実施されました。社交ダンス、民謡踊、三味線、尺八、編物手芸、剣詩舞、民謡、書道（本館）、詩吟、華道、フラダンス、着付、茶道、書道（わかたけ会館）と14のコースで、各コースには指導者の先生又はリーダーがつき、各コース共10回の講習、勿論各コース無料で行われ、コース終了後には修了証書が渡されております。

このようにして文化教室は年々活発になり福生市の文化向上に一役をかっております。ただ文化教室のコース内容が毎年同じではマンネリ化はさせられませんので、文化協会役員の皆さんと常に相談をし、どのようなコースを新しく入れたら市民の皆さんのニーズに応えられるかを思考して

いるところです。

私は詩吟の方で文化協会に所属しておりますので、文化教室の詩吟について申しあげますが、わずか10回の詩吟の指導を受けただけの人達が文化教室終了後も詩吟のいづれかの会に入り、現在も熱心に練習にはげんでおり、週1回の練習日を楽しみにしており、それだけに吟の上達も早く、先輩の人達も驚く程に上手になっております。これは詩吟のコースだけでなく他のコースで勉強された方にもこのような例が沢山あると聞いております。

私は今後も福生市の文化向上に情熱を燃やし、少しでもお手伝いできることを念願しておりますので、市民の皆様に環境の整備された公民館を最大限に利用して頂き、一人一人が積極的に文化教養を高められ、豊かで活力ある日常生活をおくって頂けますことを心から期待いたしております。

「第九」にかかわって

「ふっさ春の第九」

実行委員会

実行委員長

(6・8年度)

村 尾 佐保子



市制20周年記念事業として始まった「第九コンサート」の第5回が平成9年3月に開催されました。

このたび公民館からの記念誌に第九コンサートの思い出、感想をと依頼され、その事を振り返って見ました。忙しさに追われ遠い出来事の様に思える今日此頃でございますが。

第九のコンサートのはじまりは、……私には暇もないし、全然考えてもいない寝耳に水の話でございました。でも教育長さんからのお話で、市の音楽文化の向上の為に市民参加でということです。

他のことではない、芸術、文化のこと、盛り上げて地域社会が明るく生き生きとなるならばなあーと考え、おそるおそる参加いたしました。

やはり大変なことでございました。始めは基礎作りとして「福生の街に音楽を」と音楽活動をすすめるために、音楽団体の有志と公民館で何回も打合せ等をし、すべり出しました。参加者の募集も手作りのポスター、チラシを皆で手分けして配布しお願いいたしました。

対象は世代、階層を越えてのことございました。実際の練習に向けては、ドイツ語の発音を覚えるのが難しうございました。途中でおやめになる方もいらっしゃいました。一寸のひまでもテープを離さずに聞き、幼稚園の孫までが私のパートをうたえる様になってしまいました。発表の日は譜面無しということで、ますます大変と思ったことを思い出します。

練習会には寒い北風の吹きすさぶ日、又冷い雨のふりしきる日もございましたが、それを克服しての練習でした。ただ辛抱と根気、根性でしょうか、階層を越えた団員だけに、先生はどれだけ骨を折られたことでしょう。次回はやめさせていただきましょうと思い乍ら、次も又、次もと全回参加させていただきました。それには成就した時の感激、感動、それであると思います。又団員団結しての合宿、練習、それが又今となっては苦しかったけれど楽しかった良い思い出となっております。

しかしその御指導下さった朝日先生には残念なことにもう御指導いただけなくなりました。先生の熱心なお姿が目に浮かびます。この紙面であつくあつくお礼を申し上げますと共にご冥福をお祈りいたします。

今つくづく考えますのに少しでも実行委員長として公民館活動の一部、地域の音楽文化の向上の為にお役に立ったならば非常に嬉しいと思っております。

公民館の職員の皆様方にも大変お世話になりました。感謝いたしております。と共に福生市公民館活動のますますの御発展をお祈りいたします。

「第九」と私



福生「第九」市民合唱団

団長（2年度）

小林 光

平成2年3月24日、市制20周年記念事業、福生「第九」演奏会が市民会館大ホールを満席にして開かれ「プラボーリ！」の声援の中で幕を閉じました。客席には、石川市長をはじめ市の役職員の方々。200人の合唱団の中には、実行委員長でありバスパートの歌い手でもある来往野教育長がありました。

オーケストラは新日本フィルハーモニー。ソプラノ、斎田正子。アルト、伊原直子。テノール、小林一男。バス、木村俊光。指揮、外山雄三の各氏。当時も今も日本のトップアーティストと言われる方々との共演は舞台も客席も熱気に溢れるものとなりました。

私は、計らずも、この市民参加による福生「第九」合唱団の団長に選ばれ、演奏会を成功させるための練習会の運営、はじめて「第九」を歌うために参加された団員の皆さんとの交流と仲間づくりのための仕事をさせてもらいました。私自身は、20年前の三多摩第九、第1回演奏会から参加をしており、「第九」交響曲の音楽の難しさや楽しさ、その意味などについては分かっているつもりでしたが、合唱指導者として情熱と厳しさと暖かさをもって指導していただいた郡司博さんとの出会いは、過去の経験など何の意味も持たないことを思

い知らされたものでした。

合唱表現の奥深い可能性、アマチュアであってもプロの演奏家と共に演じるための心構え、感動ある演奏を実現するための準備とは等々、この6ヶ月間の中で学ぶものがたくさんあって、その後の、私の音楽活動に大きな財産を与えてくれるものになりました。

ノーベル文化賞の大江健三郎氏が「文化は治癒力である」と言っています。福生市が21世紀を目前にして、市民参加による大合唱運動を提案されたことの意味の大きさを、いま改めて実感しています。市民一人ひとりが、地域文化の創り手、広めて手として行動を起こすとき、優れたヒューマンネットワークが生まれ、市民参加による健全な街づくりが本格的に始まるのではないかと思うからです。

市民音楽祭にかかわって

～「虹の村」制作を通して～

「虹の村」
制作委員会
小林昌幸



昨年（1997年）で福生市音楽祭は開催から15回目を数えました。“市民の手づくり”によるこの音楽祭は、市民主体で行われているということでは、質、回数ともに「優良」の市民活動と言えます。その15回の歴史の中で、私が最も関心を寄せた企画が“コーラス・ファンタジー「虹の村」”の制作・上演です。この「虹の村」上演は最も“市民の手づくり”が發揮されたものと言えます。

「虹の村」とは創作昔話で、約20年前、活躍していたサークルが影絵芝居として制作・上演・19

93年の「童話フェスティバル」で再演されました。この再演を機に、市民音楽祭や、当時のサークルメンバーらが中心となり、「虹の村」の合唱化を試みることとなりました。実行委員会の組織にはじまり、作詩、台本制作、メロディーづくり、合唱曲への編曲、合唱団の組織。そして、上演に臨みました。この一連の制作手順は“市民の手づくり”を基本とし、どうしても困難な作詞と編曲は、福生にゆかりのあるプロの方々にご協力を頂きました。1996年第14回の市民音楽祭の第二部を飾った「虹の村」上演は、例年ないほど多くの観客動員があり、アンケートからも沢山の賛辞を頂きました。

「虹の村」上演の意義は再三述べている“市民の手づくり”を最大限に發揮することですが、様々な角度からも上演意義があったと考えます。例えば「芸術」という側面から見ますと、ひとつのモチーフを様々なバリエーションでリメイクすること。創作の昔ばなしから影絵へ、影絵から合唱曲へと、多くのかたちで「虹の村」が上演されていることは、まさしく芸術活動と言えます。また「福生を学ぶ」という点では、歌詞のそこかしこに昔の福生の情景や、言い伝えが詳細に語られ、単なる創作の域を超えた、貴重な資料とも見てとれます。この他にも「世代を超えた交流」ということでは、老婆が子供たちに昔話を語る構成や、組織した合唱団内の年齢を超えたコミュニケーションの流れがあり、「物の大切さ」や「自然の重要性」も唱えています。つまり「虹の村」には様々なメッセージが盛り込まれ、多くの人々に伝える意義がありました。これらのメッセージは、私たちの常日頃の事象として捉えることが出来ます。暮らしの中で抱いている夢や希望、不安や問題といったものを、人々に伝え、後世に残して行くためのひとつ的方法として、市民参加の活動があるのです。“コーラス・ファンタジー”とは合唱で奏でる夢の空間。「虹の村」と

は“架け橋（虹）となる福生（村）”ということ。

福生は夢や希望を持てるところであり、様々な人々との架け橋となるまちでなければならないと思います。「虹の村」は福生に暮らす市民がそんな思いからつくり上げた、第一級の宝物であり、20年にわたる公民館活動の中の最高の財産であるのです。これからもこのような市民活動が出来る公民館であり福生であることを願います。

市民音楽祭プログラムより

～コーラスファンタジー『虹の村』～

作詞：鳥羽 貞子 編曲：山上 陽美

1. わらべうた (児童合唱) 作曲：佐藤 聖子
2. 多摩の情景 (混声合唱) : 広田 文幸
3. 春の朝 (女声合唱) : 小泉 順子
4. 晩 霜 (男声合唱) : 小林 光
5. 夏 雲 (混声合唱) : 坂戸美沙子
6. あぜ道 (〃) : 岸田 鈴子
7. 宴 (うたげ) (〃) : 小林 光
8. 雪ん子 (女声合唱) : 有井 節子
9. おこんの手紙 (ソプラノ独唱・女声合唱)
: 小林 光
10. ひとすじの道 (混声合唱) : 小林 光
11. 多摩の流れは生きる水 (児童合唱・混声合唱)
: 小林 光
12. 虹の村 (〃〃) : 小林 光

指揮・小林 光

ソプラノ独唱・越智 雅子

ヴァイオリン・天野 紀子

ヴィオラ・磯部優美子 チェロ・岡 加寿子

フルート・広川 伸

パーカッション・山崎奈保子

コーラス・『虹の村』合唱団、福生児童合唱団

ピアノ・小田切洋子、山下やよい、中山佐和子

ナレーション・湯川 あき

合唱指導・井上 高男、高橋 逸子

ステージスタッフ：J-C L U B

～合唱組曲「虹の村」が出来るまで～

「虹の村」は福生を舞台に“おこん”という名のキツネと村人“おゆう”との交流を描いた創作昔話で、1974年に発足した「影絵サークルななよん」により制作、上演が繰り返し行われています。

1993年多摩移管100周年を契機に広げられた「TAMAらいふ21」の企画として「ふっさ童謡フェスティバル」を開催。ここで多摩地域の昔を物語にした「虹の村」が市民劇団「バッカス」の協力で年月を経て再演されたのです。その年の後半には、市民の有志が集い「虹の村」をテーマに、オリジナル合唱曲を創り上演を目指して「虹の村制作委員会」がスタートしました。

物語を基に、福生の昔の情景を、あきる野市在住の詩人、鳥羽貞子さんが12編の詩にしました。そして、作曲、舞台作り等、市民の手で色々と準備が進められて行きました。1996年福生市民音楽祭において上演予定のため、同年3月3日からはじまる「虹の村・合唱講習会」にむけ、市内在住の音楽家、山上陽美さんに編曲を依頼いたしました。

本日ここに、福生児童合唱団「フレンズ」を含め約100名の団員が「コーラスファンタジー虹の村」を皆様にお届けします。最後までご観覧下されば幸いです。
〔虹の村制作委員会〕

～解説～

コーラスファンタジー「虹の村」は、12曲の独唱を含む合唱曲からなる組曲で、曲の間にナレーションを入れた構成になっている。第1曲及び第2曲は導入部で、その間にナレーションがあり福生や近隣の地域の情景を歌っている。続いて、第3曲から第8曲にかけての6曲はナレーションを挟みながら、四季の移り変わりを歌う。第9曲と第10曲で「虹の村」の物語が現れて、最後の第11曲・12曲で多摩の情景とエピローグになっている。

上演編成は大まかに声部と器楽伴奏に分けられる。声部は混声4部、児童、女声、男声合唱、ソプラノ独唱、語りのナレーション。器楽伴奏として、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの弦楽器に、フルート、ピアノ、そして打楽器部が加わる。

昭和62年度

市民文化教室

文化連盟共催

コース	開講期間	内容	指導者	参加人員
俳句	6月6日(土)から 全10回 午後	現代俳句のやさしい作り方と 鑑賞の仕方	来住野臥丘	300人
社交ダンス	7月10日(金)から 全10回 夜間	初心者対象の基本ステップ	小林 武	600人
詩吟	8月20日(金)から 全10回 夜間	富士山、川中島、塞翁ヶ馬 春望 他	井上 楓風	110人
茶道	9月7日(月)から 全10回 午後	表千家茶道の初歩	高山 君子	200人
民踊	7月11日(土)から 全10回 午後	伊勢音頭、浪花節だよ人生は 他	花柳千衛里	290人
編物手芸	7月8日(水)から 全10回 午前	初秋向けのあみもの	堂田きよ子	400人
書道	9月4日(金)から 全10回 午前	初心者向けのかな、漢字	私市 石蘭	290人

公民館主管

コース	期間	内容	指導者	参加人員
初心者 ワープロ 教室	10月29日(月)～ 23日(金)午後 全4回	ハンディタイプのワードプロ セッサーの基本操作と簡単な 文章作成	遠藤 理恵	150人
	63年3月22日(月) ～26日(金)午後 全4回		井梅 靖子	150人
ステンド グラス 教室	6月3日(水)～ 12月9日午後 全23回	直径28cm高さ18cmのブドウ柄 のティファニーランプシェー ドの作成	津田 映子 鹿住 雅子	115人

16ミリ発声映写機操作講習会

期 間 昭和62年6月25日(木)～28日(日)

午後7時～10時(28日のみ午前9時～午後4時)全4回

会 場 公民館

参加者 17人×4回=68人

月 日	内 容	講 師
6. 25	視聴覚教育について	矢本 敏行
26	16ミリ映写機操作練習	佐藤 勝貫
27	"	上島 茂
28	個別操作と修了式	

文学教室「文学との出会い」

期 間 昭和62年9月10日(木)～10月29日(木)

午前10時～正午 全7回

会 場 公民館

参加者 11人×7回=77人

月 日	内 容	講 師
9. 10	自己紹介、三好達治、堀辰雄の詩	
17	「ぼくのお姉さん」 丘修三	
10. 1	「黒猫」 ポー	
8	詩集「北国」 井上靖	武田 秀夫
15	「風と木の詩」 安房直子	朝日新聞「色鉛筆」
22	「ピレモンとバウギス」(「ギリシャ神話」より) 「河霧」 国木田独歩	著者
29	「愛と希望の街」大島渚「しろばんば」井上靖	

市民大学講座 法律コース「教育法をまなぶ」

期 間 昭和63年2月26日(金)～3月18日(金) 午後2時～4時

会 場 公民館

参加者 6人×4回=24人

月 日	内 容	講 師
2. 26	法を生かすもの、創るもの	
3. 4	教育基本法を読む	小野 征夫
11	"	(日本福祉専門学校)
18	"	

公民館講座「福祉を考える」

期 間 昭和63年3月3日(木)～3月24日(木) 午後7時半～9時半

会 場 公民館

参加者 17人×4回=68人

月 日	内 容	講 師
3. 3	福祉活動と公民館	奥田 泰弘 (中央大学教授)
10	市内のさまざまな福祉活動	
17	"	
24	" 、まとめ	

昭和63年度

市民文化教室

文化連盟共催

コース	開 講 期 間	内 容	指 導 者	参 加 人 員
尺 八	8月4日(木)から 全10回 夜間	都山流尺八の解説と初步の 奏法	城戸 皓山	80人
社交ダンス	9月12日(月)から 全10回 夜間	初心者対象の基本ステップ	長島 正穂	340人
民 語	8月5日(金)から 全10回 夜間	佐渡おけさ、両津甚句	沢田 春駒	210人
茶 道	9月2日(月)から 全10回 午後	久田流点前の基礎	杉浦 晃陽	80人
民 踊	8月20日(土)から 全10回 午後	幸せばやし、尾鷲節他	東山 夢福	130人
編物 手芸	8月8日(木)から 全10回 午前	秋冬のベスト、冬物プル オーバー	堂田きよ子	100人
書 道	9月2日(金)から 全10回 午前	初心者向けのかな、漢字	私市 石蘭	270人
人 形	8月4日(木)から 全10回 午後	木目込人形の作成	酒井 虹晨	80人

公民館主管

コース	期 間	内 容	指 導 者	参加人員
初 心 者 ワープロ 教 室	6月29日(水)～ 7月2日(土)午後 全4回	ハンディタイプのワードプロ セッサーの基本操作と簡単な 文章作成	遠藤 理恵 井梅 靖子	60人
	11月30日(水)～ 12月3日(土)午後 全4回			40人
ス テ ン ド グ ラ ス 教 室	6月10日(金)～ 12月16日 午後 全25回	直径28cm 高さ18cmのブドウ 柄のティファニーランプシェ ードの作成	津田 映子 鹿住 雅子	200人

こだわり講座「新そばを打つ」

期 間 昭和63年11月 9日、16日

場 所 公民館調理室

参加者 16人×2回=32人

月 日	内 容	講 師
11. 9	新そば粉を材料に、講師の実演のあとアドバイスを受けながら こね延ばし、たたみ切る作業を行った。そば粉とつなぎの割合 は6対4	
16	そば粉とつなぎの割合を8対2とし、講師のアドバイスを受け ないで自分の力ですべて作った。作った物を講師のものと比較 した。	豊隅 正樹

オフセット印刷機操作講習会

期 間 昭和63年10月29日(土) 午後1時～3時 午後7時30分～9時30分

全2回

会 場 公民館

参加者 1回目 9人 2回目 6人 計15人

月 日	内 容	講 師
10. 29	オフセット印刷機の操作についての説明、実習	佐藤 勝貫

講座「どうかわる消費税社会」

期 間 平成元年 2月 9日（木）～3月 9日（木） 午後 7時30分～9時30分

会 場 公民館

参加者 11人×5回=55人

月 日	内 容	講 師
2. 9	消費税の骨子	斎藤 明 (創価大教授)
16	消費税の基本的仕組み	
23	課税対象・納税義務者	
3. 2	免税・非課税	
9	一般生活に与える影響	

ほほえみフェスティバル

期 日 昭和63年 9月 18日（日） 午前10時～午後 3時

会 場 公民館、福祉会館及び福生公園

内 容 福祉映画会、交流会、おもちゃ図書館、れんげ作業所手作り品即売、不用品バザー

16ミリ発声映写機操作講習会

期 間 昭和63年 6月 23日（木）～26日（日） 午後 7時～10時

(26日のみ午前 9時～午後 4時) 全 4回

会 場 公民館

参加者 6人×4回=24人

月 日	内 容	講 師
6. 23	視聴覚教育と操作方法の講習	矢本 敏行 佐藤 勝貫 上島 茂
24	16ミリ映写機操作講習	
25	"	
26	個別操作と修了式	

市民大学講座・法律「高齢者の雇用問題（高齢者雇用安定法）」

期 間 昭和63年10月 27日（木）～12月 1日（木） 午後 7時30分～9時30分

会 場 公民館

参加者 7人×5回=35人

月 日	内 容	講 師
10. 27	高年齢者雇用の現状	楳崎 二郎 (学芸大名誉教授)
11. 3	"	
11. 10	定年制の合法性	
11. 17	高年齢者の雇用の継続・促進	
12. 1	シルバー人材センター、まとめ	

平成元年度

市民文化教室

文化連盟共催

コース	開講期間	内容	指導者	参加人員
俳句	5月11日(木)から 全10回 午後	俳句の初步	来住野臥丘	150人
社交ダンス	7月13日(木)から 全10回 夜間	初心者対象の基本ステップ	宮本ハツ子	340人
民謡	8月19日(土)から 全10回 夜間	佐渡おけさ、秋田おばこ 真室川音頭	沢田 春駒	250人
茶道	7月12日(水)から 全10回 午後	裏千家の点前	山田 宗恵	200人
民踊	8月10日(木)から 全10回	飯坂小唄、天竜下れば 他	東山夢寿々 世	150人
編物手芸	9月6日(水)から 全10回 午前	子供用ベスト、冬物プル オーバー	堂田きよ子	140人
書道	9月1日(金)から 全10回 午前	初心者向けのかな、漢字	私市 石蘭	300人
人形	6月29日(木)から 全10回 午後	木目込人形の作成	酒井 虹晨	70人

公民館主管

コース	期間	内容	指導者	参加人員
初心者 ワープロ 教室	12月6日(水)～ 12月8日(金)午後 全3回	ハンディタイプのワードプロ セッサーの基本操作と簡単な 文章作成	遠藤 理恵 井梅 靖子	30人
ステンド グラス 教室	5月18日(木)～ 12月14日 午後 全30回	直径28cm高さ18cmのブドウ 柄のティファニーランプ シェードの作成	岩浪 正明 津田 映子 鹿住 雅子	240人
	7月12日(水) 9月 13日(水)夜間10回	ミニランプシェードの作成		50人

こだわり講座「パッチワークキルト」

期 間 平成2年1月11日(木)～3月29日(木) 午後1時30分～4時30分 全11回

会 場 公民館本館

参加者 14人×11回=154人

講 師 大竹 孝 (パッチワークキルト研究家)

内 容 180cm×150cmのタペストリーの製作

こだわり講座「そばを極める」

期 間 平成元年8月13日(日)～11月22日(水) 全9回

場 所 公民館本館、白梅分館、福生市内

参加者 11人×9回=99人

日 時	テ ー マ	内 容	講 師
8. 13午前	種 蒔 き		村野 守男
8. 20午前			
10. 18夜間	そば打ち		豊隅 正樹
10. 28夜間		土練りから成型	
10. 29夜間		仕 上 げ	
11. 12昼間		素 焼 き	柴田 繁
11. 16夜間		絵 付 け	
11. 19全日		本 焼 き	
11. 22夜間	そば打ち		豊隅 正樹

市民大学講座・法律「民法(相続編)」

期 間 平成元年9月27日(水)～10月25日(水)

午後7時30分～9時30分

会 場 公民館本館

参加者 12人×4回=48人

月 日	内 容	講 師
9. 27	相続ということ	
10. 4	遺言の方法	石川 稔
18	相続分配	(上智大学教授)
25	ま と め	

シナリオ入門講座

期 間 平成元年11月9日～平成2年1月11日 毎週木曜日 午後7時30分～

会 場 公民館本館

参加者 13人×7回=91人

講 師 小山 高生 (放送作家)

月 日	内 容
11. 9	オリエンテーション、簡単な自己紹介、シナリオについての講義
16	自分自身の生活をシナリオ化する=各人の作品の検討
30	自分自身の生活をシナリオ化する=各人の作品の検討（続き） 夕焼け小焼けの歌をシナリオ化する=各人の作品の検討
12. 7	自分自身の生活をシナリオ化する=各人の作品の検討（続き） 夕焼け小焼けの歌をシナリオ化する=各人の作品の検討（続き）
14	夕焼け小焼けの歌をシナリオ化する=各人の作品の検討（続き） 参加者原作の『釣り仲間』をシナリオ化する=各人の作品の検討
21	参加者原作の『釣り仲間』をシナリオ化する=各人の作品の検討（続き） もう一度自分自身の生活をシナリオ化する=各人の作品の検討
1. 11	もう一度自分自身の生活をシナリオ化する=各人の作品の検討（続き） まとめと講評

木工作教室

期 間 平成2年2月10日～3月31日 每週土曜日 午後2時～

会 場 公民館本館

参加者 8人×8回=64人

講 師 秋池 俊彦 (職業訓練校)

月 日	内 容
2. 10	オリエンテーション、自己紹介、道具の説明と仕立て方
17	木取り、自動かんなで基準面を作る、長さ決め
24	長さ決め、幅決め
3. 3	墨付け、加工
10	加工
17	加工（自習）
24	加工、組み立て
31	仕上げ

オフセット印刷操作講習会

期 間 (前期) 平成元年 5月11日 (木) 午前10時～正午 午後7時30分～9時30分
 (後期) 平成元年10月25日 (水) " "

会 場 公民館本館

参加者 前期 9人 後期 12人

内 容 オフセット印刷機の操作についての説明と実習

講 師 佐藤 勝貫

16ミリ映写機操作講習会

期 間 平成元年 6月15日 (木) ~18日 (日)

午後7時～10時(18日のみ午前9時～午後4時)

会 場 公民館本館

参加者 10人×4回=40人

月 日	内 容	講 師
6. 15	操作方法の説明	矢本 敏行
16	16ミリ映写機操作練習	佐藤 勝貫 上島 茂
17	"	
18	個別操作と修了式	

地球発SOS! ~子供たちの未来と環境~

期 間 平成2年1月18日 (木) ~2月23日 (金) 午後2時～4時 全6回

会 場 公民館本館

参加者 39人×6回=234人 (保育室参加者15人×6回=90人)

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
1. 18	今、子どもたちが危ない! ～自然流育児のすすめ～	子どもの状況と食生活	真弓 定夫 (医師)
26	生命系の危機 ～人と環境～	遺伝と毒素、次世代に毒素をつたしている私たち	綿貫 礼子 (環境問題研究家)
2. 2	法は私たちを守れるか ～法と食品安全～	食べ物の安全性と法律	神山美智子 (弁護士)
9	蝕まれている地球 ～エネルギーと環境～	原発と電力需要、環境問題からエネルギーを考える	藤田 祐幸 (慶應大学講師)
16	サンズから見た地球	写真でみるチェルノブイリ、パレスチナ	広河 隆一 (フォトジャーナリスト)
23	今、私たちにできることは	地域でできることをだしあう	

ほほえみフェスティバル

実施日 平成元年 9月10日（日）

会 場 公民館本館、福祉会館、福生公園

参加者 述べ150人

交流会助言者 小山 茂（小平市社協）

市制20周年記念事業

第九コンサート準備会

期 間 平成元年 9月21日～平成2年 1月21日 平日夜・日曜午前 全5回

会 場 公民館本館

参加者 15人×5回=75人

回	月 日	内 容	備 考
1	9. 21	音楽団体有志と公民館で意見交換、実施希望	打 合 会
2	10. 22	「コンサートづくり研究会」	立川地域文化振興会 大河内真幸
3	11. 23	「コンサート基礎事項内定」 実施日・楽団	企 画 検 討 会
4	12. 10	「実行委員募集と各種準備」について	〃
5	1. 21	「実行委員会スタートに備え」スケジュール	〃

平成2年度

市民文化教室

文化連盟共催

コース	開講期間	内 容	指導者	参加者
俳 句	(全10回月曜午後) 6月11日～8月13日	俳句の初步	来住野元一	260人
三 味 線	(全10回 金曜夜) 7月6日～9月14日	三味線の初步・基礎	喜多川保延	300人
編 物 手 芸	(全10回木曜午前) 7月12日～9月27日	初心者のための編物手芸	堂田きよ子	130人
社交ダンス	(全10回 土曜夜) 8月25日～10月27日	初心者講習会	小宮 春吉	390人
人 形	(全10回木曜午後) 7月12日～8月16日	木目込人形基礎から	酒井 虹	100人
民 踊	(全10回月曜午後) 8月13日～10月29日	民踊り初心者講習	花柳 織弥	110人
茶 道	(全10回月曜午前) 9月3日～11月15日	茶道（お点前）の基礎	高山 君子	110人
書 道	(全10回木曜午前) 9月6日～11月15日	楷書、行書、草書、かな	私市 好美	250人
民 語	(全10回 日曜夜) 9月23日～12月9日	初心者民謡講習	澤田 春駒	170人

公民館主管

主な活動実績

コース	期 間	内 容	講 師	参加者
初 心 者 ワープロ 教 室	平成 3年 3月 13日(木) ～16日(土) 午前10時～正午	ワードプロセッサの基本 操作と簡単な文章作成	進藤 知美	10人 × 4回 = 40人
ス テ ン ド グラス教室	平成 3年 6月 6日～ 全40回	ランプシェードの 製作と仲間づくり	津田 映子	8人 × 40回 = 320人

社会教育講座「生涯学習振興法」

期 間 平成 3年 3月 4日(月)・11日(月)・25日(月)

午後 7時30分～9時30分

会 場 公民館本館

参加者 17人 × 3回 = 51人

月 日	内 容	講 師
3. 4	私たちが望む生涯学習と生涯学習振興法	奥田 泰弘(中央大教授)
11	社会教育法と生涯学習振興法	平沢 茂(亞細亞大教授)
25	生涯学習振興法と公民館	長沢 成次(千葉大教授)

時事講演会「新土地保有税の周辺」

期 間 平成 3年 2月 27日(水) 午後 7時～9時

会 場 公民館

講 師 長谷川 徳之輔(建設経済研究所常務理事)

参加者 13人

こだわり講座「ぐい呑みをつくる」

期 間 平成 2年 11月 15日(木)～以後毎週木曜日 全 6回

会 場 公民館、白梅会館、ほか

参加者 12人 × 6回 = 72人

月 日	内 容	備 考
11.15	ぐい呑みの定義	指導 柴田 繁
22	土練り、成型	"
30	素 焼 き	"
12. 6	絵 つけ	"
9	本 焼 き	"
13	講 評	"

16ミリ映写機操作講習会

期 間 平成2年6月13日(水)・14日(木)・16日(土)・17日(日)

午後7時～10時(17日のみ午前9時～午後4時)

会 場 公民館本館

参加者 延べ45人

月 日	内 容	講 師
6. 13	操作方法の説明	矢 本 敏 行
14	操作練習	佐 藤 勝 貫
16	"	上 島 茂
17	個別操作と修了式	

ハーブ教室

期 間 平成2年6月20日(水)～7月18日(水) 午後7時30分～9時30分

会 場 公民館

参加者 22人×5回=110人

講 師 村越 雅代(サンファーム)

月 日	内 容
6. 20	グローイングハーブ(栽培・管理論) 土づくり、種まき
27	クッキングハーブ(料理編) ハーブビネガー、ハーブバター
7. 4	ヘルス&ビューティハーブ(健康・美容編) バスピプリ、ソープ
11	ハーブクラフト(リースづくり) ドライフラワー・ハーブリース
18	ハーブフレグランス(ポプリ編) ハーブのスリープピロー

仏像鑑賞入門講座

期 間 平成3年2月13日(水)～3月30日(土) 午後7時30分～9時30分

会 場 公民館及び東京国立博物館・鎌倉国宝館

参加者 30人×5回=150人

講 師 星山 晋也(早稲田大学教授)

月 日	内 容	会 場
2. 13	仏像の分類と特徴	福祉会館
20	飛鳥・天平様式の仏像	公民館
3. 1	藤原・鎌倉様式の仏像	
24	仏像見学会	東京国立博物館
30	"	鎌倉国宝館

地球SOS！Ⅱ 汚染時代の子どもたち

期 間 平成3年1月21日（月）～3月11日（月） 午前10時～12時 全7回

会 場 公民館本館

参加者 15人×7回=105人

月 日	テ 一 マ	内 容	講 師
1. 21	子どもをおそう放射能汚染	放射能とは、放射能汚染食品の影響	松村 真知子 (原子力資料 情報室)
28	放射能はこんなに怖い！	映画「世界は恐怖する」をみて	
2. 4	安全！輸入される 照射食品	放射能照射と輸入食品	鮎川 ゆりか (原子力資料 情報室)
18	放射能汚染と私たちの生活	放射能汚染を私たちはどうとらえて いけばいいのか	
25	日本・原発はいま	原発とは、その安全性は 日本の原発の状況	松村 真知子 (原子力資料 情報室)
3. 4	福島原発のはなし	福島原発の現状	竹村 英明 (専門家)
11	まだ、まにあうはず	今、私たちの地域で できることは	

オフセット印刷機操作講習会

日 時 平成2年6月6日（水） 午前の部 午前10時～正午

午後の部 午後2時～4時

夜間の部 午後7時30分～9時～30分

会 場 公民館

参加者 午前の部 5人 午後の部 2人 夜間の部 6人 計13人

内 容 オフセット印刷機の簡単説明と実技操作、トラブルの処置法

講 師 佐藤 勝貫（専門家）

木工作教室

期間 平成3年1月19日～3月30日 毎週土曜日 午後2時～5時

会場 公民館本館

参加者 5人×11回=55人

講師 秋池 俊彦（専門家）

月 日	内 容
1. 19	オリエンテーション、自己紹介、道具の説明と仕立て
26	道具の仕立て
2. 2	木取り、自動かんなで基準面を作る
9	長さ決め、幅決め
16	墨付け
23	加工
3. 2	"
9	"
16	加工、組み立て
23	仕上げ
30	塗装

市制20周年記念事業

第九演奏会 実行委員会

期間 平成2年2月21日（水）～平成3年5月11日 午後7時30分～10時 全16回

会場 公民館

参加者 26人×15回+35人=425人

月 日	内 容	備 考
2. 2. 21	実行委員紹介、第九とは、今後の準備	郡 司 博
3. 28	実行組織及び班分け（手分け）	団員募集
4. 18	当日企画確認、合唱団員募集要項づくり	
5. 16	演奏ソリスト報告、広報、PRについて	
6. 20	団員募集具体策、合唱団運営について	
7. 18	団員応募状況、合唱講習会について	
8. 22	合唱団役員、パート分け会、結団式	
9. 12	合唱団運営態勢強化について	
10. 17	合唱講習会進行状況、本部PR作戦	団運営・講習会
11. 15	チケット販売について、合唱団運営	PR・チケット販売
12. 5	当日記念プロ作成、チケット、団運営	
3. 1. 18	全進行状況、収録テープ、写真、VTR	
2. 27	" リハ、当日の段取り	
3. 13	当日への最終確認、打ち上げについて	
4. 10	全過程の反省会	反省会及び事後処理
5. 11	VTR映写、写真・収録テープ配付	

※実行委員会は第九演奏会の要として活動し、これを契機にして発足した福生「第九」市民合唱団として5月以降活動を開始した。

福生「第九」演奏会合唱講習会

期 間 平成2年9月2日(日)～平成3年3月24日(日)

水曜は午後7時～

日曜は午後2時～ 全30回

会 場 市民会館・公民館 大・小ホール・集会室、小学校体育館

参加者 200人×15回+180人×15回=5700人

月 日	内 容	場 所	月 日	内 容	場 所
9. 2	結団式・練習	小ホール	1. 9	合 同 練 習	小ホール
9	合 同 練 習	"	13	"	"
19	パート練習	集会3室	23	"	"
26	合 同 練 習	小ホール	27	1日講習会	"(集会3室)
10. 7	パート練習	集会3室	2. 6	合 同 練 習	小ホール
14	合 同 練 習	小ホール	10	"	"
24	パート練習	集会3室	13	"	第3小学校
31	合 同 練 習	小ホール	20	"	小ホール
11. 14	合 同 練 習	小ホール	24	"	"
21	パート練習	集会3室	3. 6	"	"
25	合 同 練 習	小ホール	10	リハーサル	大ホール
12. 2	パート練習	集会3室	20	" 指揮外山	"
12	合 同 練 習	小ホール	23	"	大井町新日フィル
19	パート練習	集会3室	24	ゲ ネ プ ロ	大ホール
23	パート練習	"	24	本 番	"

※7カ月間、約30回の練習を経て、180人の市民合唱による初の「第九」演奏会が開催された。

福生「第九」合唱団 運営委員会

期 間 平成2年8月29日(水)～平成3年2月8日(金)

午後7時～9時30分 全8回

会 場 公民館(本館及び分館)

参加者 30人×7回+28人×1回=238人

月 日	内 容
8. 29	市民合唱団暫定委員会 暫定役員選出及び活動
9. 29	市民合唱団正式運営委員会とその役割分担について
11. 9	パート委員、広報委員、企画委員、会計委員決定と活動
12. 1	合唱団員の状況と各委員会の現状と役割
9	パート委員会、各パートの出席状況と参加及び仲間づくり
12. 23	合唱団忘年会(牛1会館にて)
1. 30	合唱講習会出席確認、チケット販売、収録テープ段取り
2. 8	以後の各委員会の動き及び本番までの段取り確認

※このほか、運営委員会の各委員会は隨時打ち合わせ会を待ち、・パート委員は各パートの出欠や仲間作り、・広報委員は8回の団ニュース発行・企画委員は交流や親睦活動の計画実施、・会計は団費、写真、収録テープ受付や配布等、団運営を推進した。

尚、以後は隔年で市の主催実施の方向で、間に福生「第九」市民合唱団の手による開催にむけ活動が進められることとなった。

公民館お楽しみ映画会・お楽しみ劇場

平成3年度

月 日	内 容	回数	人 数
4. 14	ミッキーマウスのキャンピングカー、他ディズニー作品	2回	100人
6. 16	ムーミン(2本)	2	40
8. 11	象のはなこ、おかあちゃんごめんね、他	2	30
10. 13	カバ園長の動物園日記	2	10
12. 1	人形劇「台所どうぶつえん」出演:グループわんぱく坊主	1	70
2. 17	アルプスの少女ハイジ	2	23
3. 2	天空の城ラピュタ	1	7

平成3年度

市民文化教室

文化連盟共催

コース	開講期間	内 容	指導者	参加者
人形	7月17日～9月18日 (全10回水曜午前)	木目込み人形の基礎から	酒井 虹	100人
尺八	7月18日～9月19日 (全10回木曜夜間)	尺八の基礎から小作の吹奏まで	城戸 啓山	100人
編物手芸	7月25日～10月17日 (全10回木曜午前)	簡単な手芸とセーター(編み棒)	堂田きよ子	230人
三味線	8月2日～10月11日 (全10回金曜夜間)	三味線の基礎	玉津 信男	200人
民謡	8月3日～10月5日 (全10回土曜夜間)	初心者のための基礎から仕上げ数曲	澤田 春駒	100人
剣舞	8月23日～11月1日 (全10回金曜夜間)	初心者講習 基礎と演舞	小川由利子	90人
詩吟	8月24日～10月19日 (全10回土曜午後)	初心者のための詩歌朗詠 “俳句 和歌 遊詩歌謡等”	井上 誠	130人
民踊	8月24日～10月26日 (全10回土曜夜間)	“かっぽれ・奥多摩音頭”	松本 泰子	200人
社交ダンス	8月26日～10月27日 (全10回土曜夜間)	初心者のためのブルース ルンバ タンゴほか	小宮 吉春	340人
書道	9月5日～11月14日 (全10回木曜午前)	書道入門 楷書 行書 草書 仮名	私市 好美	300人
茶道	9月6日～11月15日 (全10回金曜夜間)	初心者茶道(久田流)	杉浦 陽子	200人

ベートーヴェン第九音楽講座

期 間 平成 3年10月27日（日）～11月13日（水） 全 4回

会 場 公民館集会室 市民会館小ホール

参加者 50人×4回=200人

日 時	会 場	内 容	備 考
10月27日 午後1時30分～4時	公 民 館	《第九》が語りかけるもの	音楽評論家 小村 公次
10月30日 午後7時～9時30分	市 民 会 館 小 ホ ー ル	ベートーヴェンその人柄その生涯 “月光” 内的世界ほか	講師ピアノ奏者 吉田 宗子
11月10日 午後1時30分～4時	公 民 館	第九の歌詞とドイツ語発音 シラー：An die Freude	女流合唱指揮者 近藤 直子
11月13日 午後7時～9時30分	公 民 館	合唱による国際交流 日本の歌・世界の歌	藤田正記 (成蹊大学) ソプラノ 秋元秀美 ピアノ 栗島和子

16ミリ映写機操作講習会

期 間 平成 3年 6月19日（水）～21日（金） 午後7時～10時

会 場 公民館本館

参加者 17人×3回=51人

月 日	内 容	講 師
6. 19	視聴覚教育および操作方法の説明	担当職員
20	操作練習	
21	操作練習および個別操作	

仏教史講座

期 間 平成 3年 7月 3日（水）～24日（木） 午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

参加者 32人×4回=128人

月 日	内 容	講 師
7. 3	東アジア仏教史	小島岱山 (中央大学講師)
10	大和・飛鳥白鳳時代	
17	奈良時代	
24	平安・鎌倉時代	

市民大学講座・法律コース「遺言を書く」

期 間 平成3年10月16日（水）～30日（木） 午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

参加者 18人×3回=54人

月 日	内 容	講 師
10. 16	遺言の効果	山田 森一 (弁護士)
23	遺言の書き方	
30	"	

カウンセリング入門講座

期 間 平成4年2月26日（水）～3月16日（月） 午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

参加者 25人×4回=100人

月 日	内 容	講 師
2. 26	聞き方の基本	中村 泰章 (日本更生保護協会 カウンセリング委員)
3. 4	自分をひらき、相手を知るために	
11	カウンセリングの実技	
16	"	

オフセット印刷機操作講習会

日 時 平成3年6月28日（金） 午前10時～正午

会 場 公民館

参加者 5人

内 容 オフセット印刷機の簡単説明と実技操作、トラブルの処置法

講 師 佐藤 勝貫（専門家）

木工作教室

期 間 平成4年2月8日（土）～3月29日 午後2時～5時

会 場 公民館本館

参加者 7人×10回=70人

講 師 秋池 俊彦（専門家）

月 日	内 容
2. 8	オリエンテーション、自己紹介、道具の説明と仕立て
15	長さ決め、墨付け
22	"
2. 29	長さ決め、墨付け
3. 7	加工
14	"
20	"
22	" 組み立て
28	" "
29	" "

初心者ワープロ教室

内 容 東芝ルポ80Fの基本操作と簡単な文章等の作成

講 師 築地 尚美 (OAインストラクター)

期 間	時 間	参 加 者
平成3年10月3日(木)～7日(月) 12月4日(水)～7日(土)	午前10時～正午 "	10人×4回=40人 5人×4回=20人
平成4年1月22日(水)～25日(土)	"	5人×4回=20人

音響機材操作講習会・照明機材操作講習会

日 時 平成3年9月5日(木) 午後7時30分～9時30分

会 場 公民館

内 容 PA卓、マイク、スピーカーなどの使い方、ケーブルの配線、他

講 師 上島 茂(専門家)

参加者 5人

照明機材操作講習会

日 時 平成4年3月4日(木) 午前10時～正午

会 場 公民館

内 容 調光機の扱い方、電源の取り方、スポットライトなどの扱い方、他

講 師 佐藤 勝貫(専門家)

参加者 7人

ワープロ練習会

期 間 平成4年1月17日～3月27日 毎週金曜日 午後7時30分～9時30分

会 場 公民館

内 容 ワープロの練習

参加者 15人×10回=150人

牛乳パックで年賀状を

期 間 平成3年11月29日・30日(土) 午後7時30分～9時30分 全2回

会 場 公民館本館

参加者 2人×2回=4人

フラワーデザイン教室

期 間 平成3年5月29日(水)～7月24日(水) 午後7時～9時 全5回

会 場 公民館

参加者 28人×5回=140人

月 日	テ ー マ	講 師
5. 29	かごのアレンジメント	遠藤 久美子
6. 12	ハート型アレンジ	(フラワーデザイン 講師)
19	コサージュ	
7. 3	フラワーケーキ	
10	花器アレンジメント	

公民館お楽しみ映画会

企画運営委員会

月 日	内 容	回数	人 数
4. 6	リボンの騎士	2回	45人
6. 8	ちびっこカムのぼうけん	2	23
8. 8	ディズニードキュメンタリー特集 ビーバーの谷 深海のなぞ	2	15
10. 23	ディズニーアニメ短編特集！ ミッキーマウスのお化け退治 他	2	70
12. 7	新美南吉お話しの世界！ ごんぎつね 手ぶくろをかいに 他	2	40
2. 8 9	風の谷のナウシカ	2	50

平成4年度

市民文化教室

文化連盟共催

コース	開講期間	内 容	指導者	参加者
三味線 (中級)	7月17日～9月18日 (全10回金曜夜間)	三味線上達法	玉津 信男	130人
尺 八	7月23日～10月1日 (全10回木曜夜間)	尺八の基礎から小作吹奏	城戸 浩山	100人
編物・手芸	7月30日～10月15日 (全10回木曜午前)	初心者のためのやさしい ニットづくり	堂田きよ子	120人
剣 詩 舞	8月8日～10月24日 (全10回土曜夜間)	初心者のための剣詩舞基 礎から演舞まで	小川由利子	90人
詩 吟	8月19日～10月28日 (全10回水曜夜間)	芳野懷古・宝船・壁に題 す・偶成、ほか	竹井 正市	90人
民 踊	8月22日～10月24日 (全10回土曜午後)	踊りの作法・扇の使い方 群舞の研究等	宍戸 千里	220人
民 踊	8月22日～10月24日 (全10回土曜夜間)	木曾節・関の五本松・津 軽タント節、ほか	安井喜久子	90人
社交ダンス	8月29日～10月24日 (全10回土曜夜間)	初心者ブルース・ジルバ ワルツ・ルンバ、ほか	橋本 洋	260人
書 道	9月3日～11月19日 (全10回木曜午前)	入門 楷書・行書・草書 仮名の基礎知識、技術	私市 好美	180人
茶 道	9月4日～12月4日 (全10回金曜午後)	茶道初心者講習	山田すみえ	200人

第九実行委員会

期 間 平成4年5月20日（水）～平成5年4月24日（土） 全10回

会 場 公民館

参加者 30人×11回=330人

月 日	内 容
5. 20	2回のコンサート振返り、 今回演奏会計画・実行日程態勢
6. 10	演奏会指導者ソリスト、合唱指導者・日程、合唱団員募集
7. 4	合唱団員募集段取り、合唱団運営について
8. 19	団員応募状況と対応、パート分け・ピアニスト募集
8. 26	応募者160人のパート分け調整会（指導者2人）
10. 17	合唱団の運営体制、合唱練習方法希望、多摩らいふカルメン
11. 21	演奏会ポスター・チラシ、当日プロパンフ、カルメンについて
12. 6	年末合唱団懇親会、年明け合宿について、カルメンについて
2. 24	最終段階日程、VTR・記念写真・演奏会テープ、打ち上げ、カルメンについて
4. 22	演奏会振返り、団運営各種報告：カルメン合唱団運営について
4. 24	演奏会本番VTRの鑑賞、テープ・記念写真処理、今後について

第九合唱講習会

期 間 平成4年9月9日（水）～3月18日（木） 全30回

会 場 公民館集会室 市民会館大ホール ほか

参加者 120人×30回=3600人

合唱講習会	設 定 ・ 内 容	指導者・ピアニスト
・合唱パート ソプラノ、アルト、テノール、バス		指導者
・練習日 水曜は夜間、日曜は午後に設定		朝日育也（玉川大学教授）
・練習内容 ①ドイツ語の意味・発音練習		平川 信（声楽家）
②ベートーヴェン「第九」第4楽章 の合唱音取り、暗譜練習		ピアニスト 山下やよい
③パート練習と合同練習の組み合わせ		小田切洋子
④合宿、大ホールリハ、オーケストラ ソリストとの音あわせにより本番へ		杉本まゆみ

「どうする、どうなる学校五日制」

日 時 平成4年7月25日（土） 午後7時30～9時

会 場 公民館本館

内 容 教育長と語ろう。普段感じている教育についての疑問や意見をお互いに交換し合う。

参加者 12名

講座「学校五日制」

期 間 平成4年9月12日（土）～10月24日（土） 午後7時30分～9時30分 全3回

会 場 公民館本館

参加者 6人×3回=18人

月 日	テ　マ　・　内　容	講　師
9. 12	教育を語り合うきっかけに なぜ、学校五日制なのか……その背景をさぐる	小木美代子 (日本福祉大学)
9. 26	子供の地域生活を豊かに 少年少女センターの実践から地域における自主的・自治的活動の可能性と大人のネットワークについて考える	岩橋 能二 (少年少女センター)
10. 24	学校だけが教育じゃない 学校五日制を機会に、あらためて、地域や家庭の教育力について考える	木全 力夫 (創価大学)

講座「子育ての中の性教育」

期 間 平成5年2月27日（土）～3月16日（日） 午後2時～4時 午前10時～正午 全4回

会 場 公民館本館

参加者 7人×4回=28人

月 日	テ　マ　・　内　容	講　師
2. 27	ないしょのはなしはあのねのね…… 子ども110番の相談事例から子どもの性の悩みをどうとらえ、 解決していくかを考え合う	大西 住江 (子ども110番 相談員)
3. 6	えっ、こんなこと教えてんの！海の向こうとこっちでは 北欧の性教育事情を学びながら学校や家庭での性教育について 考える	高山 次雄 (性教協多摩サークル)
3. 13	はずかしがらないで！確かめよう、私の中の性意識 映画『弟たちの誕生』を見ながら、自分自身の性意識を見つめ直してみよう	佐藤 洋子 (性教協多摩サークル)
3. 16	自立と共生をめざして 何に向かっての性教育なのか？自らの生き方を含めて考えあつていきましょう	山本 直英 (「人間と性」 研究協議会)

ワープロ教室

期 間 平成4年6月17日（水）～6月22日（月）全5回

会 場 公民館本館

内 容 東芝ルポ80Fを使い、ワープロの基本を学ぶ

参加者 10人×5回=50人

講 師 システム情報館インストラクター

ワープロⅡ

期 間 平成4年10月14日(水)～10月22日(木) 全5回
会 場 公民館本館
内 容 東芝ルポ95F等を使い、ワープロの基本を学ぶ
参加者 5人×5回=25人

男のための「生活技術の基礎知識」

期 間 平成4年9月5日(土)～12月5日(土)
会 場 公民館本館他
参加者 8人×7回=56人

月 日	テ マ ・ 内 容	講 師
9. 5	オリエンテーション 自己紹介、簡単な酒肴	
19	男の自立・女の自立 講師の体験を含め、性別役割について考える	福田 三津夫 (小学校教諭)
10. 3	やっぱりご飯のおかず グルメもいいけど、普段の料理 おとうさんの煮物他	"
17	This is アイロンがけ かしこい洗濯のはなし ポテトサラダ、あさりの味噌汁他	森田 治男 (クリーニング店主)
11. 7	手打ちうどんに挑戦 地粉を使って手打ちうどん、汁はかつお、昆布、椎茸で	加藤 有孝 (松林分館)
21	基本のダシ汁をつかって 根菜の煮物、身欠きにしんの煮付け他	
12. 5	なべを囲んで忘年会 石川酒見学会、酒のはなし	石川 太郎 (石川酒造)

講座「男の料理」

期 間 平成5年1月19日(土)～3月20日(土) 午後6時～9時
会 場 公民館本館
参加者 16人×6回=96人
講 師 谷口美津子(管理栄養士)
内 容 『丸元淑生のクックブック』をテキストに調理の実習と話し合い

芸術鑑賞入門講座「伽藍の配置と様式」

期 間 平成 5 年 5 月 11 日 (土) ~ 6 月 6 日 (土)
午後 7 時半 ~ 9 時半 (見学会のみ午後 2 時 ~ 4 時)

会 場 公民館本館

参加者 20 人 × 5 回 = 100 人

月 日	内 容	講 師
5 . 11	寺院建築の伽藍配置	白井 裕康 (早稲田大学 専門学校講師)
18	和様建築	
25	禅宗様建築	
6 . 1	大仏様建築	
6	見学会 (青梅市天寧寺)	

明るい老後のための経済学

期 間 平成 5 年 1 月 19 日 (火) ~ 2 月 16 日 (火) 午後 2 時 ~ 4 時

会 場 公民館本館

参加者 8 人 × 5 回 = 40 人

月 日	内 容	講 師
1 . 19	社会保障と暮らし	久野 万太郎 (評論家)
26	公的年金はどこまで頼りになるか	
2 . 2	新しい視点での金融資産づくり	
9	医療経済に強くなろう	
16	老後の住まいと介護	

16ミリ映写機操作講習会

期 間 平成 4 年 6 月 22 日 (月) ・ 24 日 (水) ・ 25 日 (木)

午後 7 時 ~ 10 時

会 場 公民館本館

参加者 13 人 × 3 回 = 39 人

月 日	内 容	講 師
6 . 22	操作方法の説明	担当職員
24	操作練習	
25	個別操作と修了式	

講座「ともに生きる」・障害者の人権を考える

期 間 平成 5年 6月29日（月）～7月13日（月） 午後 1時30分～3時30分 全 3回

会 場 公民館本館

参加者 33人×3回=99人

月 日	内 容	講 師
6. 29	精神障害者と人権	小林 信子（精神医療を良くする会）
7. 6	知恵遅れと人権	矢部 進（精神障害者権利擁護センター）
13	身体障害者と人権	近藤 秀夫（町田市福祉事務所ケースワーカー）

講座「生涯学習」

期 間 平成 5年 2月16日（火）～3月 2日（火） 午後 7時30分～9時30分 全 3回

会 場 公民館本館

参加者 12人×3回=36人

月 日	内 容	講 師
2. 16	生涯学習計画づくりの基本的視点	島田修一（中央大学教授）
23	立川市生涯学習推進計画から	関繁男（立川市社会教育課）
3. 2	三多摩地域の生涯学習計画づくりから	内田純一（多摩社会教育会館）

市民大学講座・法律「自己破産」－破産法－

期 間 平成 4年11月 9日（月）～30日（月） 午前 7時30分～9時30分 全 3回

会 場 公民館本館

参加者 19人×3回=57人

月 日	内 容	講 師
11. 9	カード破産の実態	宇都宮 健児 (弁護士)
16	自己破産申告手続き	
30	消費者配産法のあるべき姿	

公民館お楽しみ映画会

月 日	内 容	回数	人 数
4. 18	アラジンと魔法のランプ	2回	30人
6. 13	トンデモネズミ大活躍	2	30
8. 1	白旗の少女『琉子』	3	25
10. 25	ハンスと子ねこちゃん	2	15
12. 12	ピッピの宝島	2	40
2. 6	ムーミン2本	2	20

平成5年度

市民文化教室

文化協会共催

コース	開講期間	内 容	指導者	参加者
編物・手芸	7月8日～10月7日 (全10回 毎週木曜午前)	初心者のための小物とセーター (秋・冬もの)	堂田きよ子	180人
三味線	7月16日～9月24日 (全10回 毎週金曜夜間)	初心者のための三味線基礎講習	玉津 信男	230人
尺八	7月22日～9月30日 (全10回 毎週木曜夜間)	尺八の基礎から小作吹奏まで	城戸 英雄	60人
詩吟	7月24日～10月23日 (全10回 毎週土曜夜間)	詩吟に親しんでみませんか! 学を勧む・宝船・偶成ほか	古野 義臣	90人
剣舞	8月7日～10月23日 (全10回 毎週土曜夜間)	初心者のための剣詩舞基礎から演舞まで	小川由利子	60人
社交ダンス	8月14日～10月23日 (全10回 毎週土曜夜間)	ブルース・ジルバ・マンボの基礎	大石 安子	250人
民踊	8月12日～10月21日 (全10回 毎週木曜夜間)	誰にでもできるやさしい踊り、 新花笠おどり唄ほか	横川 貞子	230人
書道 A	9月2日～11月18日 (全10回 每週木曜午前)	書道入門 (楷書・行書・草書・仮名)	私市 好美	290人
いけばな	9月18日～11月27日 (全10回 毎週土曜午前)	初心者のための生花・盛り花の 基本と自由花	小峰 敏子	160人
茶道	10月7日～12月9日 (全10回 每週木曜午前)	初心者茶道(作法の基礎、割りげいこ、亭主・客の立場、茶会等)	高山 君子	80人
人形	9月30日～12月2日 (全10回 毎週木曜午前)	初心者のための木目込人形 (来年のエト製作ほか)	岸 光子	80人
書道 B	10月6日～12月2日 (全10回 每週木曜午前)	漢字・かな文字・実用細字と近代 詩文書(現代詩・俳句)	野島 英一	200人

16ミリ映写機操作講習会

期間 平成5年6月23日(水)～25日(金) 午後7時～10時 全3回

会場 公民館本館

参加者 13人×3回=39人

月 日	内 容	講 師
6. 23	視聴覚教育と操作の講習	担当職員
24	16ミリ映写機操作講習	
25	個別操作と修了式	

市民大学講座・法律「入国管理法」

期 間 平成 5年10月27日（水）～11月17日（水） 午後 7時30分～9時30分 全 3回

会 場 公民館本館

参加者 10人×3回=30人

月 日	内 容	講 師
10.27	出入国管理制度、他	黒木 忠正
11.10	入管制作の基本方針、他	「わかりやすい入管法」著者
17	難民認定、他	

生涯学習講座

期 間 平成 6年3月11日（金）～25日（金） 午後 7時30分～9時30分 全 3回

会 場 公民館本館

参加者 15人×3回=45人

月 日	内 容	講 師
3. 11	生涯学習とは	横山 宏（元国立教育研究所室長）
18	計画づくりへの市民の関わり	立川 叶子（東大和の生涯学習研究会）
25	生涯学習計画づくりの視点	横山 宏

講座「終のすみか」を考える

期 間 平成 5年11月18日（木）～12月 9日（木） 午後 7時30分～9時30分 全 3回

会 場 公民館本館

参加者 19人×3回=57人

月 日	内 容	講 師
11. 18	有料老人ホームの現状と課題	久野 万太郎（評論家）
12. 3	今後の高齢者問題	林 玉子
9	在宅ケア、特別擁護老人ホーム	（東京都総合老人研究所）

初心者ワープロ教室

期 間 平成 5年11月11日（木）～12日（金） 午後 7時～9時30分 全 2回

会 場 公民館本館

内 容 東芝ルポ98vを使い、ワープロの基本を学ぶ

参加者 10人×2回=20人

講 師 Tスクエア インストラクター

照明機材操作講習会

日 時 平成 6年 3月10日 (木) 午後 2時～4時
会 場 公民館本館
内 容 調光機の扱い方、電源の取り方、スポットライトなどの扱い方、他
講 師 佐藤 勝貫、馬場 由里 (専門家)
参加者 5人

音響機材操作講習会

日 時 平成 6年 3月11日 (金) 午前10時～正午
会 場 公民館
内 容 PA卓、マイク、スピーカーなどの使い方、ケーブルの配線、他
講 師 上島 茂、伊藤朋子 (専門家)
参加者 7人

芸術鑑賞講座「仏像鑑賞入門」

期 間 平成 5年 5月13日 (木) ~ 6月30日 (水) 午後 7時30分～9時30分 全 7回
会 場 公民館本館 (見学会は東京国立博物館)
参加者 43人×7回=301人

月 日	内 容	講 師
5 . 13	仏像の発生	齊 藤 経 生 (女子美術大学教授)
20	如来	
27	菩薩	
6 . 3	明王	
10	天	
24	諸尊	
30	見学会 (午前10時～正午)	

木工教室「引き出し付き小箱」

期 間 平成 6年 2月 6日 (土) ~ 3月 27日 (土) 毎週土曜日 午後 1時~4時 全 7回
 会 場 公民館本館
 参加者 9人×8回=72人
 講 師 秋池俊彦 (専門家)

月 日	内 容
2. 6	オリエンテーション、自己紹介、道具の説明と仕立て
20	長さ決め、墨付け
27	"
3. 6	加工
13	" 箱部分組み立て
20	"
27	" 引き出し部分組み立て
28	" 仕上げ

講座「男の料理」

期 間 平成 5年 9月 25日 (土) ~ 平成 6年 3月 19日 (土)
 月 2回 土曜日 午後 6時~9時 全13回

会 場 公民館本館
 講 師 谷口 美津子 (管理栄養士)
 参加者 24人×13回=312人

月 日	内 容
9. 25	オリエンテーション、自己紹介、鳥肉と豆腐のハンバーグ、しめじと春菊のごま和え、スープ
10. 9	鳥肉と根菜の煮物、もやしのナムル、豆腐とわかめのみそ汁
23	なつかしい蒸しパン、シチュー、サラダ
11. 6	さんまの蒲焼丼、茶碗蒸し、豆腐となめこのみそ汁
20	スペゲッティ・ミートソース、かぼちゃのスープ、サラダ
12. 4	五目ごはん (しょうゆ味の炊き込みごはん)、菊花かぶ、さばの昆布巻き、栗きんとん、かぶのみそ汁
18	鍋を囲んで忘年会=おでん、寄せ鍋、酢のもの
1. 8	鳥がゆ、揚げ鮭の甘酢づけ、ひじきの煮物
22	チャーハン、焼きぎょうざ、肉まんじゅう、オニオンスープ
2. 5	今までのメニューの中から班ごとに組み立てて……
19	五目寿司、手巻き寿司、菜花のからし和え、わかめのお吸い物
3. 5	手打ちうどん、つけだし
19	キーワイの生ハムのせ、かぼちゃのポタージュ、サラダ、さばの香り蒸し煮マスタード風味

フラワーデザイン教室

期間 平成6年1月29日(土)～3月26日(土) 午後2時～4時 全5回

会場 公民館本館

参加者 23人×5回=115人

月 日	テ ー マ	講 師
1. 29	花器アレンジメント	遠藤久美子 (フラワーデザイン講師)
2. 12	かごのアレンジメント	
26	トピアリー	
3. 12	コサージュ	
26	花器アレンジメントテーブルセッティング	

公民館お楽しみ映画会

月 日	内 容	回 数	人 数
4. 2	バヤヤ王子	2回	25人
5. 30	わんぱくナージャの竜王退治	2	10
8. 4～5	黒い雨	2	35
10. 17	太陽の王子—ホルスの大冒険	2	40
12. 23	4年3組のはた	2	30
2. 27	地球っ子	2	25

TAMAらいふ21事業

事 業 名	開 催 日	入場者数
TAMAらいふ21平成「水と緑の大茶会」	5月9日(日)	800人
地域企画プログラム TAMAらいふ21 ふっさ童謡フェスティバル 出演 島田裕子・ボニージャックス・市民団体	6月27日(日)	998人
TAMAらいふ21 市民オペラ劇場『カルメン』 出演 森山京子・藤原章雄・天羽明恵・直野資他 21ふっさカルメン合唱団・21ふっさカルメン児童合唱団 府中市民交響楽団	9月19日(日)	1,098人
21ふっさカルメン合唱団練習 41回 延5,922人 21ふっさカルメン児童合唱団練習 35回 延1,200人 助演練習 18回 延216人		
TAMAらいふ21 多摩歴史ミュージカル『玉の都』 出演 古沢泉・山田綾子・わらび座他	10月30日(土)	1,018人

*入場無料

TAMAらいふ21 平成「水と緑の大茶会」

TAMAらいふ21事業として多摩全市で『平成水と緑の大茶会』を実施した。福生市では公民館が主管となり、実行委員会を組織して実施にあたった。

趣 旨 ①自然を舞台とした茶会を実施することによって、日本の固有文化にふれ、多摩の自然を再認識する。

②可能な限り自然の湧水を利用することによって、自然な水に対する理解を広げ、また、既存の湧水保全事業の充実を図る。

③多摩32市町村の自然と緑を広く市民にアピールする。

④福生市の文化活動を活性化する契機とする。

日 時 平成5年5月9日(日) 午前10時～午後3時30分

会 場 多摩川中央公園

内 容 ①お茶席 福生市茶道会所属の茶道家による野点

②琴・尺八演奏 福生三曲会による演奏

③展示 多摩の自然と湧水パネル、福生の自然と湧水パネル、茶会使用水の紹介、雨水浸透ますの展示

④身近な水の水質実験 COD、亜硝酸のパックテストと説明 ⑤野外写真展 おけらの会による写真展

参加者 お茶席 510人 来場者 800人

平成「水と緑の大茶会」福生市実行委員会

日 時 平成5年4月5日(月)～5月22日(土) 全3回

会 場 商工会館2階会議室

参加者 10人×3回=30人

平成6年度

市民文化教室

文化協会共催

コース名	期 間	曜	時 間	延参加者	指 導 者
編物・手芸	7月14日～10月6日	木	午前10時～正午	150人	堂田きよ子
三味線	7月22日～10月7日	金	午後6時30分～8時30分	230人	玉津信男
社交ダンス	8月6日～10月15日	土	午後7時～9時30分	360人	大石安子
書道A	8月12日～10月21日	金	午前10時～正午	130人	野島栄一
尺八	8月12日～10月25日	金	午後7時30分～9時30分	60人	窪田成司
剣詩舞	8月19日～11月11日	金	午後7時～9時	80人	小川由利子
茶道	9月2日～11月23日	金	午後7時～9時	220人	杉浦陽子
いけばな	9月3日～11月19日	土	午前10時～正午	170人	島田千枝子
書道B	9月6日～11月29日	火	午後1時30分～3時30分	200人	岡部美代子
民謡踊	9月13日～10月25日	火土	午後7時30分～9時30分	100人	中本靖子

第九実行委員会

期間 平成6年5月31日(火)～平成7年4月21日(金)

会場 公民館

参加者 25人×11回=275人

月 日	内 容
5. 31	(準備会) 3回の演奏会及びオペラ=カルメンを振返る 今後の実行計画
6. 29	実行委員会・合唱団の態勢 合唱講習日程 合唱団員募集
7. 22	団員多數募集 合唱講習会進め方 コンサートづくり=スタッフ公募について
8. 20	実行委員会態勢について 合唱団運営について
9. 13	パート分け 合唱団結団式 コンサートスタッフ 前期練習日程
10. 23	コンサート開催PRから本番までの段取りについて
11. 23	役割分担・実施事項の確認 チケット販売計画について
12. 18	後期練習日程 合宿企画 チケット販売推進 経験者連絡
2. 14	終盤の取り組み チケット販売促進 当日パンフレットの作成
3. 2	当日運営 写真・テープ・VTR・プログラムパンフレット 打ち上げ
4. 21	今回の演奏 組織運営 残務整理 今後の方向展開について

第九合唱講習会

期間 平成6年9月21日～平成7年3月25日 全30回

会場 公民館集会室 市民会館大小ホール

参加者 120人×30回=3600人

合唱講習会 (設 定 内 容)	指導者・ピアニスト
・合唱パート ソプラノ、アルト、テノール、バス	指導者
・練習日 水曜：夜間 日曜・午後 設定	朝日育也(玉川大学教授)
・練習内容 ①ドイツ語の意味、発音練習 ②ベートーヴェン「第九」第4楽章の 合唱音取り、暗譜練習 ③パート練習と合同練習の組合せ ④合宿、大ホールリハ、オケ・ソリスト との音合わせにより本番へ	平川信(声楽家) 助手 小林光(合唱指導者) ピアニスト 山下やよい 小田切洋子 杉本まゆみ

フラワーデザイン教室

期間 平成6年10月4日(火)～12月6日(火) 午後7時～9時 全6回

会場 公民館本館

参加者 22人×6回=132人

月 日	テ　ー　マ	講　師
10. 4	かごのアレンジメント	遠藤久美子 (フラワーデザイン講師)
18	ハンドルのアレンジメント	
25	花器アレンジメント	
11. 8	コサージュ	
22	花器アレンジメント	
12. 6	トピアリーのクリスマスツリー	

第12回福生市民音楽祭

日 時 6月12日(日) 午後12時30分開演

場 所 市民会館大ホール

入場者 622人 無料・全席自由席

内 容 第1部 サークル発表の場

第2部 合同演奏の場

合唱講座参加者と二中のプラスバンドとの合同演奏

曲目 気球に乗ってどこまでも、大地讃頌

第3部 ゲスト 横田基地ゴスペル聖歌隊

出 演 福生市民コーラス、コーラス虹、人生を歌おう会、コールコスモス、コール野ばら、福生混声コーラス、福生リコーダクラブ、福生一中プラスバンド、福生2中吹奏楽部、FMC、ドレミ 計11団体

講座「現代文学にみる戦争」

期 間 平成6年9月1日(木)～10月6日(木) 午前10時～12時 全5回

会 場 公民館本館

参 加 者 25人×5回=125人

月 日	内 容	講 師
9・1	オリエンテーション・野坂昭如『廻になったお母さん』	私塾主宰 武田秀夫
8	大岡昇平『浮城記』を読む1	
22	2	
29	3	
10・6	4・まとめ	

文化講座「こんなに楽しいオペラ」

主催：福井市文化会館・音楽

期 間 平成 6年11月11日（金）～12月16日（金）午後7時～9時 全5回

会 場 公民館本館

参加者 13人×5回=65人

月 日	内 容	講 師
11・11	オペラの歴史	プロデューサー
18	オペラのできるまで	山崎 篤典
25	市民がつくるオペラ	
12・9	オペラがまちをつくる	
16	これからのおペラ	

16ミリ発声映写機操作講習会

期 間 平成 6年 6月 1日（水）～3日（金）

午後7時～10時 全3回

会 場 公民館本館

参加者 8人×3回=24人

講 師 佐藤 勝貴、伊藤 朋子（専門家）

月 日	内 容	講 師
6 . 1	視聴覚教育、映写機の構造他	担当職員
2	映写機の操作	講師・担当職員
3	映写機の操作、個別操作、フィルムライブラリー等について	"

音響・照明機材操作講習会

照明の部

日 時 平成 7 年 3 月 11 日 (土) 午前 10 時 30 分～正午
場 所 公民館本館
内 容 調光機の扱い方、電源の取り方、スポットライトなどの扱い方、他
講 師 佐藤勝貫、馬場由里 (専門家)
参加者 6 人

音響の部

日 時 平成 7 年 3 月 17 日 (金) 午後 7 時 30 分～9 時 30 分
場 所 公民館本館
内 容 P A 卓、マイク、スピーカーなどの使い方、ケーブルの配線、他
講 師 上島 茂、伊藤朋子 (専門家)
参加者 7 人

ワープロ練習会

期 間 平成 7 年 3 月 2 日 (金)、9 日 (金)
午後 7 時 30 分～9 時 全 2 回
会 場 公民館本館
参加者 7 人 × 2 回 = 14 人

パソコンビデオ編集体験学習会

日 時 平成 7 年 2 月 23 日 (木) 午後 6 時～9 時
会 場 公民館本館
講 師 千野雅則 (グローバルナレッジ)
参加者 3 人
内 容 アドビ「プリミア」等のソフトを使ったビデオ編集の実際。

「国際化を考える」準備会

日 時 平成 7 年 2 月 16 日 (木) 午後 7 時～9 時
会 場 公民館本館
参加者 4 人
内 容 ゆうあいふっさの活動から、公民館の事業展開を考える他。

市民音楽祭「合唱講習会」

期 間 平成 6 年 4 月 22 日 (金) ~ 6 月 12 日 (日) 全 7 回

会 場 公民館集会室

参加者 100人 × 7 回 = 700人

合唱講習会 (設 定 内 容)	指導者・ピアニスト
・合唱パート ソプラノ、アルト、テノール、バス	指揮者
・練習曲 大地讃頌 気球に乗ってどこまでも	大島玲子 (合唱指揮)
・練習内容 発声練習	
曲目練習 暗譜	ピアニスト
プラス・合唱の音合わせ	山下やよい

講座「高齢社会」

期 間 平成 7 年 2 月 21 日 (火) ~ 3 月 7 日 (火) 全 3 回

会 場 公民館

参加者 30人 × 3 回 = 90人

月 日	内 容	講 師
2 . 21	現代高齢社会の現状と課題	安藤孝敏 (都老人総合研究所社会学研究員)
28	現在の高齢者福祉施策の動向	中野いく子 (" 福祉部主任研究員)
3 . 7	団塊の世代の高齢期への備え	児玉好信 (共立女子短期大学)

講座「生涯学習」

期 間 平成 7 年 3 月 3 日 (金) ~ 3 月 17 日 (金) 全 3 回

会 場 公民館

参加者 6 人 × 3 回 = 18人

月 日	内 容	講 師
3 . 3	生涯学習計画策定で大切にしたい事項	宮森徳弥 (多摩市公民館長)
10	“生涯学習”その教育の根源について	木全力夫 (創価大学教授)
17	自治体 (市町村) が創る生涯学習計画	小林文人 (東京学芸大学教授)

講座「男の料理」

期 間 平成 6年10月 8日（土）～平成 7年 2月18日（土）

月 2回 土曜日 午後 6時～9時 全10回

会 場 公民館本館調理室

参加者 24人×10回=240人

講 師 谷口美津子（管理栄養士）

月 日	内 容
10 . 8	講座の説明、自己紹介、豆腐ステーキ、しめじと小松菜のごま和え、味噌汁
22	ビーフシチュー、マカロニサラダ、おむすび
11 . 5	さばの味噌煮、けんちん汁、青菜のからし和え
19	鶏むね肉のマスタード焼き、小柱ときゅうりのごま和え、味噌汁、ごまクッキー
12 . 3	炊き込みごはん、かき揚げ、ブロッコリーのミモザ和え、すまし汁
17	鯵のたたき、鍋物、酢の物
1 . 7	七草がゆ、鶏ささみのしそ巻き焼き、野菜の炒りなます、コーンクリームスープ
21	各班で別々に。A=酢豚、スープ B=しゅうまい、マーボ豆腐 C=春巻き、レバニラ炒め D=餃子、チャーハン
2 . 4	かつ丼、きんぴらごぼう、大根と納豆昆布のしょうゆ漬け、芋ようかん、味噌汁
18	ローストビーフ、粉ふきいも、にんじんのグラッセ、グリーンサラダ、かぼちゃのスープ

男の料理交流会

期 間 平成 7年 3月 4日（土）、18日（土）

午後 6時～9時 全 2回

会 場 公民館本館調理室

参加者 12人×2回=24人

講 師 谷口美津子（管理栄養士）

内 容 3月 4日=桜えびごはん、鶏のからあげ、だし巻き卵、ぱりぱり漬け、袋煮、ブロッコリーの塩ゆで

3月 18日=伊達巻、菜花のからし和え、五目寿司、鯵のたたき、すまし汁

公民館お楽しみ映画会

各団体の活動予算と実績(1)

月 日	内 容	回 数	人 数
4 . 23 24	はれときどきぶた、ぼくときどきぶた	3回	40人
6 . 26	キャプテン翼—宿命のライバル—	2	25
8 . 14	戦争—子どもたちの遺言—	2	12
10 . 8	宇宙パート1、2、4	2	8
12 . 18	魔女の宅急便	2	48
2 . 19	ガラスのうさぎ	2	9

平成7年度

市民文化教室

文化協会共催

コース名	期 間	曜	時 間	延参加者	指 導 者
社交ダンス	7月15日～9月23日	土	午後7時30分～9時30分	270人	大石 安子
三味線	7月21日～10月6日	金	午後6時30分～8時30分	150人	玉津 信男
尺八	7月25日～9月26日	火	午後7時30分～9時30分	70人	城戸 英雄
編物・手芸	7月27日～10月19日	木	午前10時～正午	250人	堂田 きよ子
剣詩舞	8月18日～10月20日	金	午後7時30分～9時30分	60人	小川由利子
民謡踊	8月25日～10月27日	金	午後7時30分～9時30分	110人	松本 泰子
詩吟	8月26日～11月18日	土	午後7時30分～9時30分	90人	井上 誠
フラダンス	8月31日～11月9日	木	午後1時～3時	220人	村田洋子、運営：木沢笑子
茶道	9月5日～11月21日	火	午後1時～3時	150人	山田すみえ
いけばな	9月5日～11月21日	火	午前10時～正午	130人	森田 和江
書道本館	9月12日～11月21日	火	午後1時～3時	220人	岡部美代子
書道わかたけ	9月12日～11月21日	火	午前10時～正午	110人	野島栄一
人形	9月14日～11月16日	木	午前10時～正午	80人	岸 光子

市民音楽祭「合唱講習会」

期 間 平成7年4月14日（金）～6月24日（土）全9回

会 場 公民館集会室

参加者 100人×9回=900人

合唱講習会（設 定 内 容）	指導者・ピアニスト
<p>「folkloreを歌おう、 ブラバン・合唱合同演奏」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱パート ソプラノ、アルト、テノール、バス ・練習曲 コンドルは飛んでいく、花 祭り 大地讃頌 ・練習内容 発声練習 曲目練習 暗譜 folklore及びブラスバンドと 合唱団の音合わせ 	<p>指揮者 柴田泰子（合唱指揮）</p> <p>ピアニスト 井上真美</p>

16ミリ発声映写機操作講習会

期 間 平成 7年 5月24日（水）～5月26日（金）

午後7時～10時 全3回

会 場 公民館本館

参加者 13人×3回=39人

講 師 佐藤勝貫、上島 茂（専門家）

月 日	内 容	講 師
5. 24	視聴覚教育、映写機の構造他	講 師
25	映写機の操作	"
26	映写機の操作、個別操作、フィルムライブリー等について	講師 担当職員

文学講座『宮沢賢治を読む』

期 間 平成 7年11月14日（火）～平成 8年 1月30日（火） 午前10時～12時 全8回

会 場 公民館本館

参加者 29人×8回=232人

月 日	内 容	講 師
11. 14	オリエンテーション・宮沢賢治の人と作品	私 勢 主 宰
21	『神と狐』を読む	武 田 秀 夫
12. 5	『銀河鉄道の夜』を読む	
12	『銀河鉄道の夜』を読むー父と子	
19	『銀河鉄道の夜』を読むー手紙にみる賢治と父	
1. 9	『銀河鉄道の夜』の推移	
23	初期の賢治の作品から	
30	まとめ	

フラワーデザイン教室

期 間 平成 7年 4月19日（水）～6月21日（水） 午後7時～9時 全6回

会 場 公民館本館

参加者 16人×6回=96人

月 日	内 容	講 師
4. 19	テーブルセンターアレンジメント	
26	アレンジメントの基本	
5. 10	コサージュの作り方	
24	アレンジメントの基本	
6. 7	花束の作り方	
21	フリーアレンジ	遠藤久美子 (フラワーデザイナー)

第13回福生市民音楽祭「世界と日本の民謡」

日 時 平成 6年25日（日） 午後1時開演
 場 所 市民会館大ホール
 入場者 704人 無料・全席自由席
 内 容 第1部 サークル発表、合同演奏
 第2部 ゲスト ラークアンサンブル、ゲストとの共演
 出 演 コール白梅、コール野ばら、コーラス虹、コール福生21、福生リコーダークラブ
 福生混声コーラス、福生市民コーラス、コールコスモス、福生一中プラスバンド部
 福生二中吹奏楽部、福生三中プラスバンド部 計11団体

市民音楽祭実行委員会

日 時 平成 8年1月18日（木）～3月22日（金）午後7時30分～9時30分
 会 場 公民館本館
 参加者 24人×3回=72人

月 日	内 容
1. 18	実行委員会組織について、音楽祭の企画について、今後の日程について
2. 16	全体の構成について、第2部「虹の村」について
3. 22	全体の構成について、第2部「虹の村」について、広報PRについて

男の料理教室

期 間 平成 8年 2月23日（金）～3月29日（金）
 午後6時30分～9時 全6回

会 場 公民館本館調理室

参 加 者 延べ参加者数 86人

月 日	内 容
2. 23	魚のさばき方（アジ、サバ）
3. 1	鰯のムニエル、イカの塩辛、切り干し大根と人参の煮物
8	野菜の即席漬け、きんぴらごぼう、ひじきの炒め煮
15	里芋とこんにゃくの煮物、エビフライ
19	焼きそば、野菜炒め
22	チャーハン、スープ

公民館お楽しみ映画会

月 日	上 映 内 容
4. 16	「象のいない動物園」（アニメ）
8. 9	「ビルマの豊饒」（アニメ）

平成8年度

市民文化教室
文化協会共催

14コース（各10回）

コース名	期 間	時 間	会 場	延参加者	指 導 者
社交ダンス	7月13日～9月23日	午後7時30分～9時30分	公民館本館	300人	大石安子
民謡踊	7月13日～10月12日	午後2時00分～3時30分	公民館本館	90人	宍戸千里
三味線	7月19日～9月27日	午後6時00分～8時00分	公民館本館	70人	玉津信男
編物手芸	8月1日～10月24日	午前10時～正午	公民館本館	180人	堂田きよ子
尺八	8月2日～10月4日	午後7時00分～9時00分	扶桑会館	70人	窪田成司
剣詩舞	8月3日～10月12日	午後2時～4時	公民館松林分館	70人	小川由利子
民謡	8月23日～10月25日	午後7時30分～9時30分	扶桑会館	190人	木住野きみ子
書道本館	8月27日～11月19日	午後1時30分～3時30分	公民館本館	240人	岡部美代子
詩吟	8月28日～10月30日	午後7時30分～9時30分	公民館本館	70人	竹井正市
いけばな	9月11日～11月20日	午後1時30分～3時30分	かえで会館	120人	伊藤美津子
フラダンス	9月11日～11月13日	午後7時30分～8時30分	公民館本館	250人	村田洋子
着付	9月14日～12月7日	午後7時30分～9時30分	公民館本館	230人	木沢笑子
茶道	9月19日～12月5日	午前9時30分～12時30分	茶室福庵	200人	高山君子
書道わかたけ	10月1日～12月3日	午前10時～正午	わかたけ会館	120人	野島栄一

第九実行委員会

期 間 平成8年4月26日～平成9年3月16日 全10回

会 場 公民館

参加者 20人×14回=280人

月 日	内 容
4. 14	今回の演奏企画について、合唱団員の募集について、ほか
6. 14	演奏企画、合唱団員募集、組織運営、実行スケジュールについて
7. 5	団員募集、ポスター・チラシ配布、広報呼びかけ、ほか
8. 23	企画の進行状況、団員の応募状況、運営態勢、合唱講習日程、ほか
9. 14	基地関係PR、パート分け、結団式の進行準備、ほか
21	パート分け調整会（応募者全員のパート分け）、楽譜配布販売、ほか
11. 27	「実行委及び団運営委」合唱団役員、後期講習日程、演奏会PR、ほか
12. 15	" 後期実行運営、団員確保、PR・チケット販売計画、ほか
1. 12	" コンサートスタッフ、PR・チケット販売計画、ほか
2. 2	" デイ合宿打ち合わせ・準備、ほか
19	" 当日プログラム及び進行、各種手配、ほか
3. 7	" チケット販売追い込み、当日手分け、打ち上げ、ほか
16	" 当日各種最終準備・点検・確認

第九合唱講習会

期間 平成8年9月25日～平成3月28日 全30回

会場 公民館集会室 市民会館大ホール

参加者 120人×30回=3,600人

合唱講習会 (内 容 構 成)		指導者・ピアニスト
・合唱パート	ソプラノ、アルト、テノール、バス	指導者
・練習日	水曜：夜間 日曜・午後 設定	朝日育也（玉川大学教授）
・練習曲	①ベートーヴェン「第九」第4楽章 ②ヴェルディ歌劇「ナップコ」	平川 信（声楽家） 山内廣文（合唱指揮者）
・練習内容	①ドイツ語イタリア語の意味、発音 ②曲の音取り、暗譜練習 ③パート練習と合同練習の組み合わせ ④デイ合宿、大ホールリハ、オケ・ソリストとの音合わせにより本番へ	ピアニスト 山下やよい 小田切洋子 中山佐和子

第14回福生市民音楽祭「コーラスファンタジー・虹の村」

日時 6月2日（日）午後1時開演

場所 市民会館大ホール

入場者 850人 無料・全席自由席

出演 第1部 サークル発表、合同演奏

コーラル白梅、コーラル野ばら、コーラス虹、コーラル福生21、福生リコーダークラブ
福生混声コーラス、福生市民コーラス、コーラルコスモス、福生一中プラスバンド部
福生二中吹奏楽部、福生三中プラスバンド部 計11団体

第2部 「コーラスファンタジー・虹の村」

指揮 小林光・ソプラノ独唱 越智雅子・ヴァイオリン 天野紀子

ビオラ 磯部優美子・チェロ 岡加寿子・フルート 広川伸

パーカッション 荒瀬順子、山崎奈保子・ナレーション 湯川あき

コーラス 『虹の村』合唱団

市民音楽祭実行委員会

日時 平成8年4月19日（金）～6月21日（金）午後7時30分～9時30分

（全6回実施、平成8年度分を掲載）

会場 公民館本館

参加者 28人×3回=84人

月 日	内 容
4. 19	ポスター、チラシ、整理券、プログラム、日程、予算について
5. 17	日程、控え室の割り当て、衣装、アンケート、公演の役割分担について
6. 21	反省と来年度へ向けて

「コーラスファンタジー・虹の村」組曲合唱講習会

期 間 平成 8年 4月 3日～6月 1日 全20回

場 所 公民館集会室 大ホール（リハーサル）

参加者 60人×20回=1,200人

合唱講習会	(内 容 設 定)	指導者・ピアニスト
・合唱パート	ソプラノ、アルト、テノール、バス	指導者
・新作合唱曲	1. わらべうた 2. 多摩の情景 3. 春の朝 4. 晚 霜 5. 夏 雲 6. あぜ道 7. 宴（うたげ） 8. 雪ん子 9. おこんの手紙 10. ひとすじの道 11. 多摩の流れは生きる水 12. 虹の村	小林 光（合唱指揮者） 井上高男（合唱指揮者）
・練習内容	発声練習、曲目練習、暗譜、合唱音合わせ	ピアニスト 山下やよい 小田切洋子 中山佐和子

16ミリ発声映写機操作講習会

期 間 平成 8年 7月 3日（水）～7月 5日（金）午後 7時～10時 全3回

会 場 公民館本館

参加者 12人×3回=36人

月 日	内 容	講 師
7・3	視聴覚教育・映写機の構造	佐藤勝貫
4	映写機の操作	上島 茂
5	映写機の操作・個別操作・フィルムライブラリー	担当職員

文学講座『夏目漱石を読む』

期 間 平成 8年 9月 5日（木）～11月 21日（木）午前 10時～12時 全10回

会 場 公民館本館

参加者 35人×10回=350人

月 日	内 容	講 師
9・5	オリエンテーション・夏目漱石の人と作品	私塾主宰
12	行人	武田秀夫
19	心	
26	彼岸過ぎまで	
10・3	道草	
17	明暗	
24	（後期三部作を中心に）	
11・7		
4		
21	まとめ	